

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

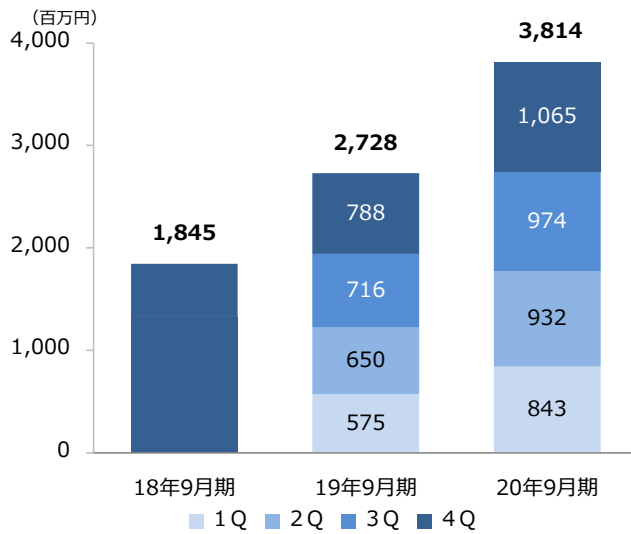
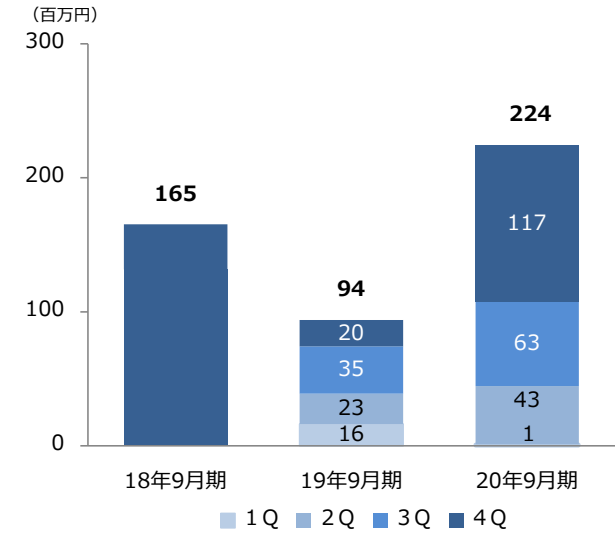
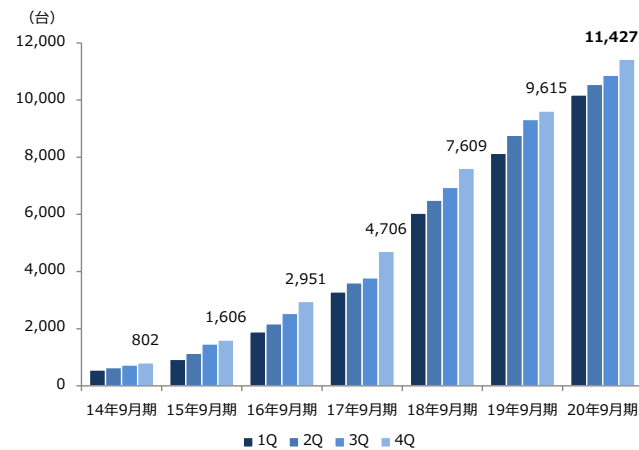
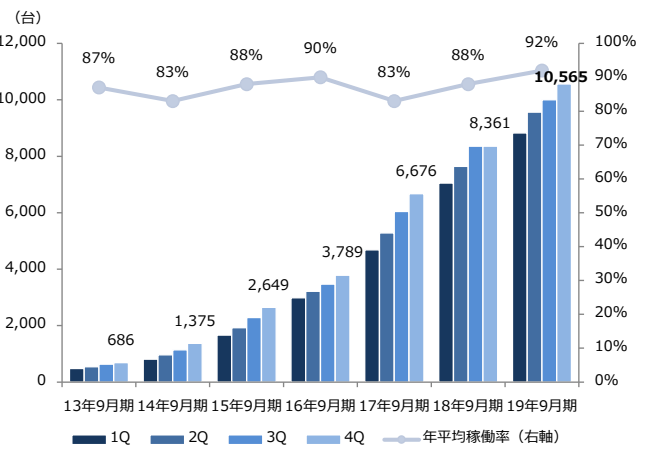
2020年11月9日、株式会社アズームは、2020年9月期通期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	19年9月期				20年9月期				20年9月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	達成率	通期会予
売上高	575	1,224	1,941	2,728	843	1,775	2,749	3,814	97.1%	3,928
前年同期比	-	-	46.2%	47.9%	46.7%	45.0%	41.7%	39.8%		44.0%
売上総利益	240	533	849	1,169	326	696	1,088	1,542	131.4%	1,173
前年同期比	-	-	38.9%	41.2%	35.4%	30.5%	28.1%	31.9%		0.4%
売上総利益率	41.8%	43.6%	43.8%	42.8%	38.6%	39.2%	39.6%	40.4%		29.9%
販管費	224	494	775	1,075	325	651	980	1,317		
前年同期比	-	-	61.5%	62.2%	44.8%	31.8%	26.5%	22.5%		
売上高販管費比率	39.0%	40.4%	39.9%	39.4%	38.5%	36.7%	35.7%	34.5%		
営業利益	16	39	74	94	1	44	108	224	118.2%	190
前年同期比	-	-	-43.6%	-43.2%	-93.8%	14.4%	45.0%	139.1%		102.4%
営業利益率	2.8%	3.2%	3.8%	3.4%	0.1%	2.5%	3.9%	5.9%		4.8%
経常利益	16	39	75	95	1	44	107	223	118.1%	189
前年同期比	-	-	-42.4%	-36.8%	-95.4%	13.8%	43.1%	135.5%		99.3%
経常利益率	2.8%	3.2%	3.8%	3.5%	0.1%	2.5%	3.9%	5.9%		4.8%
四半期純利益	11	20	45	56	-2	23	58	139	119.2%	117
前年同期比	-	-	-45.6%	-48.8%	-	18.2%	27.2%	147.9%		108.0%
四半期純利益率	1.8%	1.6%	2.3%	2.1%	-	1.3%	2.1%	3.7%		3.0%
四半期業績推移 (3ヵ月) (百万円)	19年9月期				20年9月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	575	650	716	788	843	932	974	1,065		
前年同期比	-	-	-46.0%	52.0%	46.7%	43.5%	36.0%	35.2%		
売上総利益	240	293	316	320	326	370	392	454		
前年同期比	-	-	-48.3%	47.5%	35.4%	26.5%	24.0%	41.9%		
売上総利益率	41.8%	45.1%	44.1%	40.6%	38.6%	39.7%	40.2%	42.6%		
販管費	224	270	281	300	325	327	329	337		
前年同期比	-	-	-41.5%	64.0%	44.8%	21.0%	17.1%	12.3%		
売上高販管費比率	39.0%	41.6%	39.2%	38.1%	38.5%	35.1%	33.8%	31.6%		
営業利益	16	23	35	20	1	43	63	117		
前年同期比	-	-	-73.2%	-41.7%	-93.8%	92.0%	78.8%	494.3%		
営業利益率	2.8%	3.5%	4.9%	2.5%	0.1%	4.7%	6.5%	11.0%		
経常利益	16	23	36	20	1	43	63	117		
前年同期比	-	-	-72.4%	-1.6%	-95.4%	91.5%	74.9%	476.8%		
経常利益率	2.8%	3.5%	5.0%	2.6%	0.1%	4.7%	6.4%	10.9%		
四半期純利益	11	9	26	11	-2	26	34	82		
前年同期比	-	-	-69.2%	-59.1%	-	179.4%	34.0%	656.9%		
四半期純利益率	1.8%	1.4%	3.6%	1.4%	-	2.8%	3.5%	7.7%		

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*\*2020年9月期から連結決算開始。前年同期比は非連結実績との比較。

**四半期売上高の推移**

**四半期営業利益の推移**

**サブリース受託台数の推移**

**サブリース稼働台数の推移**


出所：会社データよりSR社作成

\*表示数値は年度末実績、稼働率は年平均を用いて算出している。

## 2020年9月期通期実績

### 業績概要

- ▷ 2020年9月期（2019年10月～2020年9月）売上高：3,814百万円（前年比39.8%増、非連結決算であった前期との比較、以下同様）
- ▷ 営業利益：224百万円（同139.1%増）
- ▷ 経常利益：223百万円（同135.5%増）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：139百万円（同147.9%増）
- ▷ 連結決算：当第1四半期より連結決算を開始。連結対象となるのは、株式会社CGWorks（2019年3月より事業開始）、AZOOM VIETNAM INC.（2019年3月より事業開始）の2社。遊休不動産活用事業が好調に推移したことで、ビジュアライゼーション事業の赤字をカバーし、営業増益となった。

- ▷ セグメント開示：2020年9月期より、従来サービス別に開示されていた月極駐車場紹介サービス、月極駐車場サブリースサービスを含む遊休不動産活用事業と、新規に不動産の活用方法や完成イメージのデータ制作販売を行うビジュアライゼーション事業の2事業セグメントでの開示となる。
- ▷ 業界動向と背景：遊休不動産活用事業に関しては、同社が主力とする駐車場業界では、物件紹介依頼や、商業ビルや分譲マンション等の空き駐車場の収益化に対する需要は継続して拡大している。この背景は、都市部での大型商業ビルやマンションの建築により駐車場全体の供給量が増加する一方で、個人消費の志向や高齢化などに伴う乗用車の所有形態の多様化や地域間の供給格差などによる月極駐車場の需要と供給のミスマッチが生じているため。また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、同社の運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するようになってきており、駐車場の問い合わせ件数の増加要因になっている。一方、ビジュアライゼーション事業では、前年から本年1月にかけて、外国人観光客の増加に伴う宿泊施設や商業施設のリノベーションへの機運の高まりから、3DCG技術を活用した不動産の完成予想画像に対する需要が高まっていた。しかし、2020年2月以降においては、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、主たる顧客である宿泊施設や商業施設の不動産開発が停滞し、需要が低下した。しかし、2020年7月頃から経済活動が再開したこともあり、徐々に需要は回復傾向にある。

## セグメント別状況

### 遊休不動産活用事業

- ▷ 当セグメントは、従来非連結決算で開示されていた、月極駐車場紹介サービスと月極駐車場サブリースサービスが主体
- ▷ セグメント売上高は3,742百万円（一）、同利益は254百万円（一）

### 月極駐車場紹介サービス

- ▷ 2020年9月通期（2019年10月～2020年9月）の同サービス別売上高：407百万円（前年比21.1%増）
- ▷ 駐車場問い合わせ件数：186,547件（前年比17.2%増）となり増加傾向が続いた。

### 月極駐車場サブリースサービス

- ▷ 2020年9月期通期（2019年10月～2020年9月）の同サービス別売上高：3,214百万円（同38.2%増）
- ▷ サブリースの状況（2020年9月末時点）：受託台数11,427台（同18.8%増）、稼働台数10,565台（同26.3%増）

### ビジュアライゼーション事業

- ▷ 当セグメントは新規連結された2社が中心となって運営される事業
- ▷ セグメント売上高は72百万円（同 ー）、同損失は29百万円（同 ー）
- ▷ 第3四半期累計では、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、特に2020年4月から6月において受注が減少した。7月以降は回復傾向となっている。

## 2021年9月期通期見通し

---

- ▷ 2021年9月期連結業績見通しは、売上高4,800百万円（前年比25.8%増）、営業利益450百万円（同100.5%増）、経常利益450百万円（同101.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益288百万円（同106.5%増）。
- ▷ 主力事業である遊休不動産活用事業の月極駐車場サブリースサービスにおいて、受託台数、稼働台数を引き延ばすことで、増収増益を目指す。営業利益率も前期からの改善を見込みつつ、経営基盤・体制の更なる強化を図る。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)